



各 位

2022年2月10日

会 社 名 **株式会社 キッツ**
代表者名 代表取締役社長
河野 誠
コード番号 6498(東証第一部)
問合せ先 広報・IR室長
向井 真也
Tel (043) 299 - 0142

企業理念の見直し並びに長期経営ビジョン「Beyond New Heights 2030『流れ』を変える」及び第1期中期経営計画2024(2022~2024年度)の策定について

当社は、この度、企業理念である「キッツ宣言」を見直すとともに、長期経営ビジョン「Beyond New Heights 2030『流れ』を変える」及び第1期中期経営計画2024(2022~2024年度)を策定しましたので、下記のとおりお知らせします。

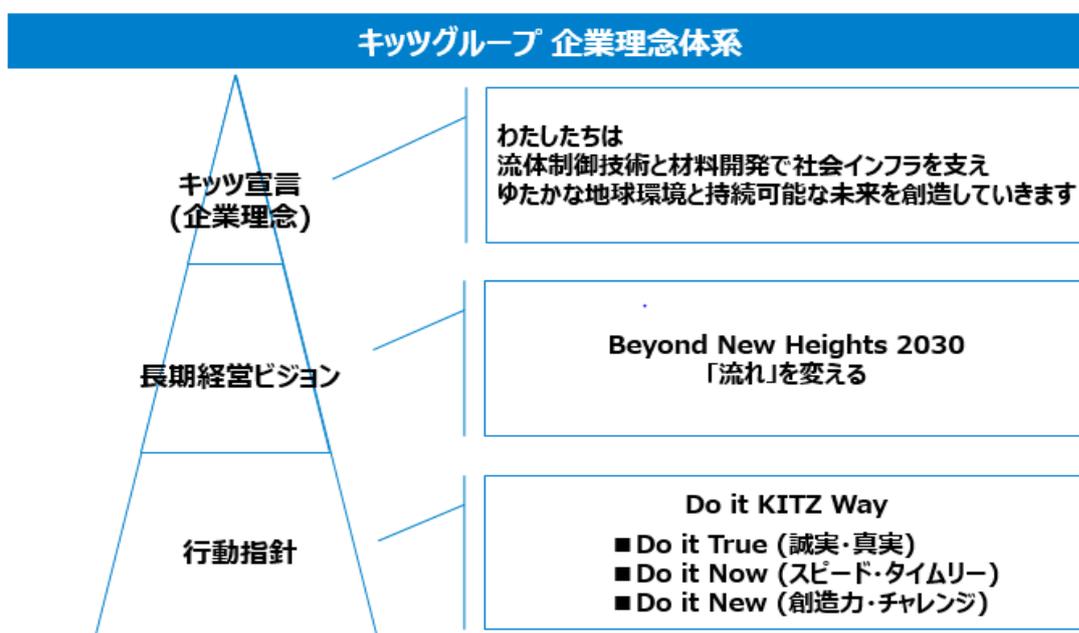
記

1. 策定の背景

昨年迎えた創業70周年の節目を機に、企業としての存在意義と社会に対する貢献について議論を重ね、長期経営ビジョンを公表するにあたり、企業理念である「キッツ宣言」を改訂することといたしました。私たちは、ゆたかな地球環境と持続可能な未来を創造することが、社会に対して果たすべき使命であると認識し、創業以来培ってきた流体制御技術と材料開発をさらに磨き上げ、社会インフラを支え続けていくという強い思いを込めています。

この新しい「キッツ宣言」の実現に向けて、持続可能な社会の実現に貢献しつつさらなる長期的な成長と企業価値向上に取り組むべく、長期経営ビジョン「Beyond New Heights 2030『流れ』を変える」及び第1期中期経営計画2024を策定したものです。

図1：企業理念体系図



2. 長期経営ビジョン

「Beyond New Heights 2030 『流れ』を変える」

(1) 2030年にありたい姿

テクノロジー／ソリューション

- ・「流す」「止める」「絞る」のあらゆるニーズに、オンリーワンの技術とユーザーの期待を超える提案力で挑戦し続ける

コアビジネス／成長ビジネス

- ・情報化社会、サステナブル社会に向けて、コアビジネスの基盤を強化し、同時に成長ビジネスへの参入を、リスクを恐れず加速させる

事業を通じた環境保全

- ・環境にやさしい商品・材料の開発や製造プロセスを追求し、持続可能な未来に貢献することにより、社会から信頼される

多様な人財の活躍

- ・性別、年齢、国籍、文化等を超えて、社員一人ひとりがプロフェッショナルとして、最高のパフォーマンスでいきいきと働いている

(2) 定量目標と目指す経営構造

① 定量目標

平均売上高成長率：4%以上（2030年度の連結売上高 2,000 億円規模）

ROE：10%以上（2030年度の連結当期純利益 100 億円規模）

② 経営構造

現在のコア事業を土台に、利益に軸足を置いた両利きの経営を目指す。

デジタル化・脱炭素化を背景とした成長分野・地域への積極的リソース投入
投下資本収益性（ROIC）を重視した事業展開

(3) 長期戦略ターゲット領域

半導体・通信インフラ需要の爆発的成長と水素など新エネルギー転換への市場活性化を背景に、既存ビジネス領域（建築設備、石油・一般化学）に加え成長領域への拡張を目指す。

<成長領域>

都市／情報インフラ、半導体製造装置、機能性化学、純水・超純水プラント／装置、次世代エネルギー／低炭素、水素サプライチェーン

(4) 長期戦略投資方針

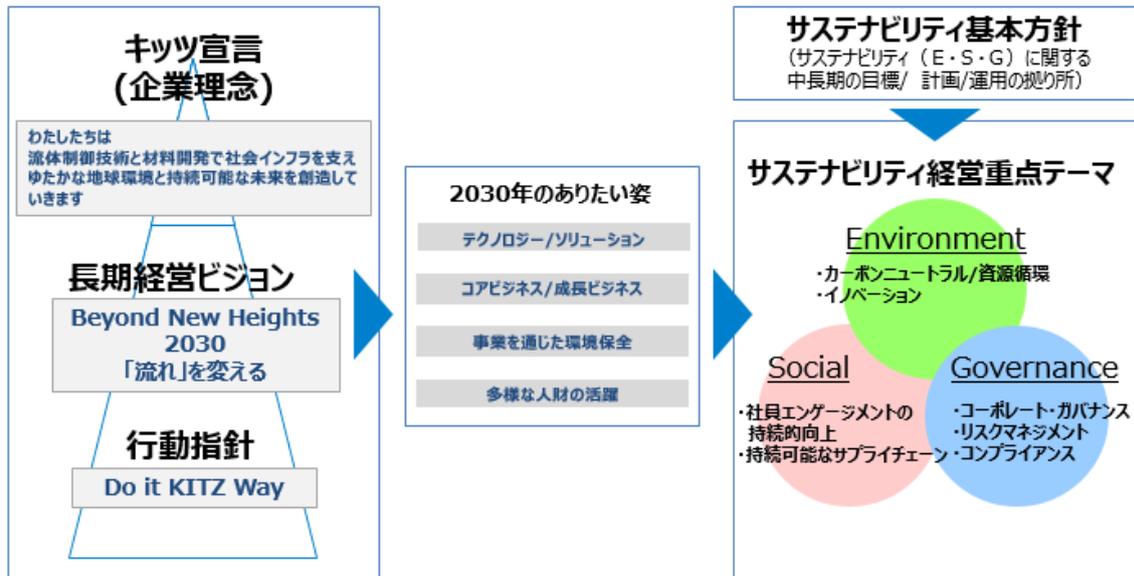
総投資枠（9ヵ年）800 億円とし、内、約 6 割を成長・新規分野への戦略投資枠（DX・M&A を含む）に設定、コア事業からのビジネスシフトに向け、経営リソースを重点的に割り当てる。

(5) サステナビリティ基本方針

キッツグループは、企業理念である「キッツ宣言」の実現に向けて、

- ① 事業を通じた社会課題の解決に取り組み、企業価値と社会価値の向上を図る
- ② 効率的で、公正かつ透明性の高い企業経営を実現し、社会から信頼される企業となる
- ③ あらゆるステークホルダーとの対話により、強固な信頼関係を構築する

図2：企業理念体系とサステナビリティ経営（全体図）



(6) DX への取り組み

流体制御とデジタルで世界の社会インフラを支え、ゆたかな未来を創造するために、既存事業の徹底した効率化と経営リソースの可視化・流動化を図り、顧客志向の機動的な組織へと転換することを目指す。

3. 第1期中期経営計画 2024

(1) 事業戦略

① バルブ事業

中長期ターゲット市場を8つの市場に区分し、コア事業を基盤に成長分野・新規分野への資源移動を進める

<コア事業>

- ・ 建築設備
- ・ 石油化学
- ・ 水処理
- ・ 機械装置

<成長分野>

- ・ 半導体装置
- ・ 半導体材料 (フィルター)
- ・ 機能性化学
- ・ 水素/低炭素

② 伸銅品事業

大規模更新投資の効果の刈り取りと2次・3次加工ニーズの取り込み

(2) 経営資本の充実

① 組織・人的資本

- ・ ビジネストランスフォーメーションプロジェクトによる業務革新
- ・ 事業戦略に沿った組織体制構築
- ・ 社員エンゲージメントの持続的向上

② ROIC/サステナビリティ経営

- ・ 成長投資を最優先とした投融資・資本政策
- ・ 投資収益性と成長性を軸とした事業管理
- ・ ESG視点の取り組み強化

(3) 戦略投資方針

半導体、水素などの成長領域へ重点的投資を実施

(4) 定量目標

連結業績 (億円)

	2022 年度	2024 年度
売上高	1,430	1,500
営業利益	100	120
ROE	7.6%	8%以上

セグメント別売上高 (億円)

	2022 年度	2024 年度
バルブ事業	1,122	1,185
伸銅品事業	290	295
その他	18	20
合計	1,430	1,500

セグメント別営業利益 (億円)

	2022 年度	2024 年度
バルブ事業	133	151
伸銅品事業	8	10
その他	0	1
全社費用他	△41	△42
合計	100	120

非財務目標^{※1}

	2021 年度実績	2024 年度
CO2 削減率 (2013 年比、国内グループ)	△26.9% ^{※2}	△80%
社員エンゲージメントスコア		
働きがい ^{※3}	48pt	56pt
働きやすさ ^{※4}	43pt	55pt
女性社員全体比率	21.7%	23%
女性管理職比率 ^{※5}	3.4%	10%
男性育児休業取得率	29.0%	50%

※1 CO2 削減率を除きキッツ単体

※2 2020 年度実績

※3 目標に向けた貢献意欲や帰属意識、自発的努力などを測定する質問項目におけるスコア

※4 スキルや能力を活かす機会、働きやすい環境などを測定する質問項目におけるスコア

※5 管理職：部門長職に就いている社員

以 上